



いいで町

No.
140

議会だより



上手に書けたかな（新春書初め大会）

12月議会(12回定例会)

議会も「環境にやさしい」活動に取り組んでいます



年頭の挨拶・概要P2~P3
補正予算、条例P4~P5
一般質問P7~P9
議会報告会P12~P13
三セク・研修報告P14~P15
一部事務組合P16

新年のごあいさつ



議長 菅野 富士雄

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

平素より議会活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、昨年実施しました議会報告会にも、多くの方々に参加していただきありがとうございました。

地球規模で進む温暖化のなか「暑」で表現された昨年でしたが、町の農業にとっては大きな被害もなく、豊作に結びついたのではと思われる年でした。しかし、反面米価下落が経済不況に結びつく一因になった年でもありました。また、国内の状況も停滞しており、早急な経済対策を期待したいものです。

政府は地域主権を大きな命題としてとりあげ、各自治体の責任ある運営を求めるようです。権利の移譲や財源の問題など不透明な部分はありませんが、今後議会の責任が増大するものと思います。

第四次総合計画が年度内に策定され、今後10年間の町政運営の指針が示めされますが、第四次行財政改革大綱や、過疎地域自立促進計画を精査し、将来への方向性を提言していきたいと考えています。

ますます人口減少の進む地域に、すぐに効く薬はないと思いますが、大いに議論し智恵を出して負託に答えていきたいと思えます。

本年も、あたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。あいなさつといたします。

22年から27年

過疎地域自立促進計画策定

平成22年12月定例会概要

平成22年12月定例会の会期は、12月8日から14日までの7日間にわたり、条例改正3件、22年度各会計補正予算9件、過疎地域自立促進計画、請願1件、決議1件、意見書6件を審査し、原案のとおり可決しました。

新たな支援策が盛り込まれて！

6年間で総事業費91億円

うち

過疎地域自立促進特別事業分 約10億円

◆ 主なソフト事業

- 子育て支援医療給付事業（中学生まで医療費無料化）1億4千万円
- 定住促進、産業振興費等 11億3千万円
- 予防接種事業（疾病予防）6千5百万円

◆ 主なハード事業

- 町道南館深淵線外、道路改良事業 11億7千万円
- 除雪機械及び消防施設の整備事業等 2億8千万円
- 学校耐震化整備事業等 2億8千万円

平成22年度各会計補正予算

平成22年度飯豊町一般会計は、歳入歳出それぞれ4547万円を追加し、総額は51億5949万円となりました。

◆ 一般会計補正予算

歳入

(単位：万円)

款	補正額	計
地方交付税	1億9566	28億5425
分担金及び負担金	133	3873
使用料及び手数料	151	9065
国庫支出金	△511	2億7263
県支出金	△110	3億130
寄付金	24	34
繰入金	△1億5525	1億3135
諸収入	179	1億70
町債	640	3億9560
補正されなかった款にかかる額		9億7394
歳入合計	4547	51億5949



厳しい冬にそなえて

歳出

(単位：万円)

款	補正額	計
議会費	△51	7641
総務費	△6	6億3444
民生費	610	11億1702
衛生費	1008	3億431
労働費	122	6163
農林水産業費	733	5億9599
商工費	646	1億1246
土木費	1752	4億5320
消防費	37	2億4136
教育費	△300	5億2957
災害復旧費	△4	2191
補正されなかった款にかかる額		10億1119
歳出合計	4547	51億5949

民生費の介護保険特別会計繰出金	1145万円
衛生費の子宮頸がんワクチン予防接種補助金	324万円
小児用肺炎球菌ワクチン	360万円
ヒブワクチン予防接種補助金	272万円
商工費のプレミアム付商品券発行事業補助金	670万円
土木費の町道歌丸線防雪柵設置工事	4800万円

◆ 各特別会計補正予算

(単位：万円)

会計別	補正額	計
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	1663	8億3592
国民健康保険特別会計 (直診勘定)	19	1億4220
後期高齢者医療特別会計	△1	8176
介護保険特別会計	9217	9億6761
訪問看護特別会計	△6	1886
介護老人保健施設特別会計	139	2億6167
物品調達特別会計	△46	1673
農業集落排水事業特別会計	452	7億2188
水道事業会計 収益的収入及び支出	510	2億456
水道事業会計 資本的収入及び支出	30	9696

国民健康保険特別会計では高額医療費の給付費	1100万円
後期高齢者医療特別会計の介護サービス給付費	8000万円
介護予防サービス給付費	190万円
高額介護サービス費	560万円
特定入所者介護サービス費	370万円
水道事業会計の水質検査業務	500万円

条例・請願・意見書

条例改正

飯豊町税条例

長い間に、何回も町税条例の改正を行って来た結果、条の並びの違いや語句・字句の誤りが多くなつたため、本改正で準則に合わせて是正を行うもの。

飯豊町営住宅管理条例

町営住宅に入居する者または現に同居し、若しくは同居しようとする親族が法に規定する暴力団員である場合町営住宅の使用を許可しないとするもの。

飯豊町雇用促進住宅管理条例

本条例改正も町営住宅同様、暴力団員の入居を許可しないことを定める条例改正です。

いづれも、暴力団員の使用制限を行い、住民の安心安全な生活を守ろうとする改正です。

請願

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に反対する意見書提出方請願

請願者

山形おきたま農業協同組合経営管理委員会

会長 木村 敏和

山形おきたま農協農政対策本部

本部長 木村 敏和

意見書（全員賛成）
◆仙谷由人官房長官の発言に抗議する決議

◆政府に対し万全の危機管理体制の構築を求める意見書の提出

◆朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書提出

TPP参加には、国の経済成長も考える必要があるものの、本町の基幹産業である農業を守るため、賛成多数で採択しました。

決議並びに意見書の提出

◆TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加に慎重な対応を求め

◆子ども手当財源の地方負担に反対する意見書提出

（5件は賛成多数で可決しました。）



暴力団の入居が規制される町営住宅

(臨時会)

人件費 1091 万円削減

第9回臨時会

10月5日第9回臨時会を開会し、補正予算及び工事請負の一部変更についての2件を審査、いずれも全会一致で可決しました。

300万円を合わせ1440万円を追加し、51億1403万円としました。その財源として地方交付税1405万円、県補助金35万円を充てるものです。

工事請負契約の一部変更

飯豊町一般会計

補正予算

○林道飯豊松枝岐線改良工事(第1工区)

ペレットストーブ導入補助として140万円と、大規模林道飯豊松枝岐線改良工事に1

契約金額を1億1524万円から1億3495万円に1971万円増額変更。

第10回臨時会

10月18日第10回臨時会を開会し、補正予算1件、工事請負契約の変更3件、その他1件あわせて5件を審査、いずれも全会一致で可決しました。

円増額し、5250万円から5380万円に変更。

○農業集落排水事業

特別会計補正

添川地区農業集落排水事業処理施設建設工事に2億200万円を補正し、その財源として県補助金1億円、借入金1億200万円を充てるものです。

○工事請負契約の一部変更

・添川地区農業集落排水管路工事(第3工区)

契約金額を130万

第11回臨時会

11月30日第11回臨時会を開会し、条例改正2件を審査、いずれも全会一致で可決しました。

条例の一部改正

○飯豊町一般職の職員の給与に関する条例

人事院勧告に基づき40才以上の給与月額を引き下げと、期末勤勉手当の支給月額を0・2月分引下げるもの。

○飯豊町特別職の職員の給与に関する条例

期末手当の支給月額を0・15月分引下げるもの。

条例改正により、人件費が1091万円削減されました。



松枝岐線改良工事完成



松枝岐線崩壊

一般質問

活気あふれる町を創るために



鈴木敏夫議員

- 農業を取り巻く環境について
- 企業誘致の取り組みについて
- 婚活支援の対応について
- 不登校の実態と対策について

質問 農業を取り巻く厳しい環境に、活力をどこに求めるか伺います。

潜在する資源を有効に活用

町長 戸別所得補償制度と、町の支援事業も進めながら、農家経営全体にメリットの感じられる対応を進めていきます。

質問 農地の有効利用にどのような行動をおこそうとされているのか伺います。

農地の意向調査の実施

農業委員会会長 あっせん事業と利用集積円滑化事業の二本立てにより取り組んでいます。

質問 企業誘致の取り

組みと「新産業創出産学官連携の推進」の進捗状況は。

町長 企業誘致の取り組みは、具体的な成果には至っていない現状です。「新産業創出産学官連携の推進」については、試験研究を継続しており、順調にいくば、来年3月に試作品ができる予定です。

質問 結婚を希望する男女の婚活支援と具体的な対策は。

近隣自治体と連携

町長 情報の共有や事業の共同実施に、近隣自治体と連携して取り組んでいきたいと考えています。

質問 不登校の実態とその対策は。

指導体制と連携強化で

教育委員長 飯豊中学校に11名います。対策としては、担任や養護教諭等が相談にあたっています。指導体制の強化・家庭や関係機関との連携強化に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

Q 不登校の出現率が県平均の倍以上である。環境づくりは。

A 対策を検討しています。

Q 国の地域雇用創造推進事業への対応は。

A 重要な懸案で、検討を進めています。



一般質問

後藤町政、残り2年間の姿勢は



船山清一 議員

後藤町政これまでの総括と 今後2年間にに向けた基本姿勢は

質問 後藤町政がスタートして2年が過ぎて折り返し点に立ち、この間の総括をどのようににされていますか。

の政策を訴えました。

「語り合うまちづくり」
「耕す町づくり」「育てる町づくり」
「育て若いうち」
「その施策の具体策として「地域づくり座談会」「いいで未来号の旅」「稲作農家に対する独自支援」「プレミアム商品券の発行」「子育て支援医療給付制度」の充実など即実行可能なものについて速やかに対応し、その成果はあったものと考えています。

三つの政策を柱に
速やかに対応

町長 私は町長選出馬にあたり、大きく三つ

質問 町民の不安は後藤町長は甘すぎるのではないか。何でも引き受けるがこんなことが続くのかといった心配です。どうですか。

真摯に受け止め
深く反省

町長 人にやさしい町づくりを念頭に対応してきましたが、そのよくな声を真摯に受けとめ、深く反省いたします。

質問 地域づくり座談

会の持ち方に疑問があります。地区の要望に

対し、あらかじめ文書で回答しておきながら当日同じ課題のやりとりに終始しています。

女性や青年達の参加

を求め、町づくりに向けた自由な懇談の場にしてはどうでしょうか。

工夫をこらし
多くの参加を

町長 このことについては、私も強く感じています。どこの地区で

も女性の参加者が少なくゼロの地区も多くあります。

座談会の持ち方を工夫し、より多くの方々の意見をお聞きできるようにしていきます。

質問 今後に向けてあります。来る年は、町長自ら第4次総合計画を策定するわけですが、この総合計画にいかんにか民意を反映させるかについて、どのように考えていますか。

本町の基本理念を
ベースに

町長 本町には「手づくりの町いいで」というすばらしい理念があります。これを貫くことを基本に、振興審議委員の皆さんの考えをまとめていきます。



語り合うまちづくり

一般質問

農業技術者を配置し農家を支援



山口文隆 議員

産業振興の方向と計画は

要と考えています。次年度以降に農業技術者を配置し農家をサポートする事業を実施します。

質問 農商工の連携による地場商品開発や産業振興の組織づくりを推進すべきでは。

質問 米価下落、農業

就業者の減少と高齢化

が進むなか、現在の農地を維持するための農業振興策を伺います。

質問 農産物の飯豊ブランド化への施策は。

生産加工販売の一体的な戦略が必要

町長 町内で、単独で進められている商品開発を、地域おこしへと爆発的に転じるには、生産と加工、流通と販売を一体的にとらえ、文化や歴史を含めた戦略が必要です。国や県、民間企業の情報をキャッチし即時に提供していきます。

農業者が輩出する

施策を

町長 規模拡大の意向や若い世代の台頭基調も感じられます。継続して農業者が輩出される施策を練り上げたいと考えています。また、国の施策と本町独自の施策で現在の農地を守

町長 品質を保証する種々の成分量等の数値に特化するのではなく、生産全体の安全性、品質などの生産環境をブランドとして外に向けて発信していきます。また、地域・生産者の全体で目標達成に向け底上げを図ることが必

まず、町内に有る産品で、地元で高く評価されている物を発掘して商品化し、地元の



高校生も商品開発に一役

業者や三セクなどの団体で交流を重ね商品の検討をしていたら、評価を頂いた後に全国に売り出す流れをつくりたいと考えています。

町長 必要性を痛感しています。年間を通じ勉強中の職員がいることから徐々に成果が出てくると考えています。

農業技術者の配置

町長 品質を保証する種々の成分量等の数値に特化するのではなく、生産全体の安全性、品質などの生産環境をブランドとして外に向けて発信していきます。

町長 国をあげて取り組んでいることでもあ

町長 策定中の第四次総合計画の基本方向をもとに、産業に係る分野を網羅した計画を策定

第四次総合計画の中に

質問 産業の六次化は、

町長 策定中の第四次総合計画の基本方向を

今後の成果を期待

町長 国をあげて取り組んでいることでもあ

町長 策定中の第四次総合計画の基本方向を

火災警報器 設置率64%

総務文教常任委員会

各課からの報告

◇総務企画課

○知事と語ろう市町村ミーティングinいいでにおいて約150人の参加がありました。

○にぎわい茶房協力店募集、3件応募があり認可決定しました。

◇住民税務課

○住宅火災警報器配布取り付けを行い、64%の設置率となりました。

◇教育文化課

○飯豊中の不登校実態を重く考え、中津川中学校への区域外通学を認める考えです。

○23年度は中津川地区町民プールを閉鎖

○23年度から3学期制への移行を進めています。

○飯豊分校の今後について2月下旬町民へ説明。

◇新行財政改革担当課

○各課から実施計画を提出後、1月末まで取りまとめ、予算と同時に並行で進めます。

質問と答弁

問 不登校が急激に増えた理由と、地域外登校で改善の可能性は。

答 間休んだら、教員や友達などが訪問していません。家庭へは、子どもの状況把握と保護者面談。校内では、状況の検討会議を行い、相互理解を深めています。

問 原因は多種多様で探ることは難しく、学校生活の不安、家庭内の問題があげられます。中津川中学校は、実績もあり、少しでも多くの生徒が再登校できるように支援していきたいと思います。

答 2学期制を実施しているが、その評価は、2学期への移行のタイミングが乏しく、学力実態の確認が遅れがちであります。全国でも導入率が、小学校22%、中学校23%であり、新たな3学期制を構築していきます。

問 登校への問題解決と、その対策は。

答 本人・家庭・校内の3つの対応があり、本人へは電話で、2日

問 新規採用者の業種ごと年齢構成、採用者

答 平成25年度募集を停止し、平成23、24年度入学生徒は本校へ移行。分校として果たしてきた役割を本校でもできるように配慮して取り組んでほしいと考えています。

問 飯豊分校の今後について2月下旬町民へ説明。

答 一般職3名、22歳2名、34歳1名。保健士1名22歳。看護師1名30歳、採用予定です。新規採用者と2年目は行政の基礎知識、講話。メンタルヘルスは主査、課長及び室長クラスで行う予定です。

問 飯豊分校の今後について2月下旬町民へ説明。

答 本人・家庭・校内の3つの対応があり、本人へは電話で、2日

火災警報器設置状況

地区	世帯数	個数			取付依頼戸数
		煙式	熱式	計	
中部地区	200	545	126	671	8
白樺地区	122	309	94	403	7
東部地区	130	374	88	462	0
西部地区	69	191	49	240	1
中津川地区	50	106	34	140	0
合計	571	1,525	391	1,916	16

問 飯豊分校の今後と跡地利用は。

答 一般職3名、22歳2名、34歳1名。保健士1名22歳。看護師1名30歳、採用予定です。新規採用者と2年目は行政の基礎知識、講話。メンタルヘルスは主査、課長及び室長クラスで行う予定です。

問 新規採用者の業種ごと年齢構成、採用者

答 平成25年度募集を停止し、平成23、24年度入学生徒は本校へ移行。分校として果たしてきた役割を本校でもできるように配慮して取り組んでほしいと考えています。

つや姫好評、増産へ

産業厚生常任委員会

各課からの報告

産業振興課

◆「つや姫」の23年作付面積の配分が当初58畝だったが、好評だったため11畝追加配分されました。

◆農業用排水路対策

萩生排水路は22年度から調査に入っています。

添川、椿地区からも要望があり、県は12月3日、今後の状況を視察されました。椿地区について要望して行きます。

地域整備課

◆添川地区農集排整備事業は、集落内管路工事が完成し検査も終了しました。12月20日舗装道路修復工事完了予定です。



好評な「つや姫」

健康福祉課

◆三ワクチン接種

・ヒブワクチン
インフルエンザb型
による髄膜炎予防のため。
0〜5歳未満児283人が対象です。

・小児用肺炎球菌ワクチン
肺炎、細菌性髄膜炎、菌血症、中耳炎等、予防に0〜5歳未満児283人を対象にするものです。

・子宮頸がん予防ワクチン
中学一年生〜高校一年生まで136人が対象。

接種開始日は長井西置賜医師会と協議。

◆安心創造生活事業

のぼり・ステッカーを作成し町民にPRします。

ほほえみカーは買物帰りの助成でなく行き方の助成を検討中です。

農業委員会

◆農地斡旋委員会パトロールを実施。
売買6件、貸借4件、経営困難地を認定農家中心に斡旋を行います。

質問と答弁

問 耕作放棄地の実態はどうですか。

答 全体で10畝ほどあるが、再生可能地は8畝と見込まれます。

問 20%のプレミアム商品券は他市町の発行は。

また、夏は事務費が、75万円町から出ているが、商店会員からも徴収しているが内容は。

答 20%のプレミアムは置賜では飯豊だけです。

また、商工会が独自に徴収している2%は、還元抽選会に充てています。

問 ドーザー等のスクラップ化、廃車手続きはどのように確認していますか。

答 県から払い下げた物件については、解体証明と抹消登録の確認が必要です。今後、慎重に対応していきます。

問 物件が公的な物であり、古物商の登録を持つている人に売るべきでは。

外国へ転売される可能性が大きいので町内の人を中心に払い下げよう考えるべきでは。

答 古物商の資格は持っている。

また、商工会が独自に徴収している2%は、還元抽選会に充てています。

問 払い下げされた、

払い下げ対象者については、今後検討します。

統廃合に質問・意見交換

活力ある議会のために

効率的な行財政運営を図るには、議会と町民との連携が重要であります。

また、まちづくり政策決定過程への住民参加が極めて重要となってくることから、本議会では、町政に対する意見等をお聞きするため、9月15・16の両日、5カ所で初めての議会報告会を開催しました。140人の出席者から活発な質問や意見等をいただきありがとうございました。その内容を掲載します。

開催日と会場 参加状況

日	場所	参加人数	担当議員
9月15日(水)19時	中部地区 公民館	33人	菅野 嶋貫 岡田 山 八島 船
	白樺地区 公民館	32	手塚 長沼 中村 後藤 鈴木
9月16日(木)19時	東部地区 公民館	30	長沼 小関 岡田 後藤
	西部地区 公民館	20	手塚 山口 八島 船 山
	中津川地区 公民館	21	菅野 嶋貫 中村 鈴木

中部地区

住民との意見交換を
どのように

問 住民との意見交換や、報告会をどのように行っていますか。

答 議会としては、子ども議会や出張常任委員会を開催しています。また、議員個人としては後援会や地域行事などで意見交換などを行っています。

問 議員の研修報告書は誰が作成していますか。また、誰でも見ることが出来ますか。

答 報告書は議員が作成しています。議会報には、要約して掲載していますし、情報公開請求をすれば、誰でも

見ることが出来ます。

問 第一小学校のプールの再建は。

答 町では、校舎の耐震度調査後、検討するということでした。

専決処分の効力は

白樺地区

問 専決処分したものを議会が承認しなかった場合の効力は。

答 効力は無くなりません。専決処分のできる場合は、議会を開会する暇がない場合など、限られています。

答 議会側で提出できる案件は限られており、議会委員会条例の改正1件、だけです。

町側から提案されたものについては、是非々で議論を交わしています。地区の議員という考えでなく、町全体の議員として町民の声を聞き、町政に反映させています。

問 議会報はホームページに載っていますか。

答 ホームページに載せており、飯豊町を離れている人の方が多く関心をもって見て感想を下さいます。

東部地区

学校の統廃合の考えは

問 議員から提出される案件は年何件あり、民意をどのように町政へ反映させていますか。

初めての議会報告会

議会の活動状況や学校の

問 特別委員会の会議録は見る事ができますか。

答 公開条例があるのが可能ですが、要点記録となっております。

開かれた議会として、できるだけ公開するようになっています。

問 今、町では何が問題になり、議会はどのように動いていますか。

問 町長は学校の統廃合は行わないという方針のようだが、子供が減少しており検討も必要では。

答 町民の方々の考え

答 現在、人口増対策、所得向上や環境問題などが町の課題であり、町と議会が一緒になって取り組んでいます。

をお聞きするため、後日、意向調査を実施するという事なので、ご協力お願いします。

西部地区

ナラ枯れ対策は

問 ナラ枯れが飯豊の美しい山を崩壊する恐れがあり、対応をお願いしたいが考えは。

答 危機感を共有していますが、現在、絶対という駆除方法が無く苦慮している状況です。

中津川地区

地域の特色を生かし活性化対策を

問 パークゴルフ場の整備を早急に考えていただけませんか。

答 未収金は21年度全額で9719万円でした。不況等の影響等で多額となっておりますが、平等の原則から言っても納付を促すよう、議会も指摘しています。

答 地域密着型特別養護老人ホームとして29床新設する計画ですが、議会としては、町内の方を優先するよう、常に提言しています。

問 空き家対策の具体的な活用法は。

答 小規模作業所や、体験農家、Ｉターン、

問 地域の活性化を図っていくかは、全町的な課題であり、地域の特色を生かした対策の考えはどうですか。

答 各地域の特色を生かし、まちづくりに結びつけていくことが大

答 第三セクター検討委員会でも検討、提言しています。大規模林道の開通と合わせ、誘客に結びつけていくべきと考えています。



活発な意見交換

第三セクター調査検討特別委員会

赤字を解消し町へ還元を

第三セクター個々の審査内容

総評

21年9月から22年12月までの1年3ヶ月間で27回の委員会を開催し、7つの第三セクターを慎重に調査・検討してきました。

その結果を報告します。

(1) 飯豊めざみの里(株)

開設当時から約50万人の来館者を維持しており、累積赤字を徐々に黒字に転換していることは評価しますが、売掛金・未収金の解消などまだまだ問題があるし、経営改善による収益率の向上に期待します。

(2) しらふやま(株)

今後、売上高の向上に努めたり、在庫管理をしつかりして、収益に結びつけるべきとされています。

また、庶務や経理に精通している従業員がいないことも経営内容を把握できない要因であり、社員一丸となって努力することを希望します。

(3) 白川荘・フォレスト

累積赤字が毎年増加している一方、従業員を増員したり、多額の広告宣伝費を支出しているが誘客に結びついていない等、しっかりと状況を把握していかないように感じました。

(4) どんでん平ゆり園

閉園時の利用方法、人件費の削減に努力し、健全経営を目指すことを要望します。

(5) 堆肥センター

地域還元型の第三セクターの企業として今後も努力してほしい。また、地域・町と十分協議しながら環境に配慮して経営にあたってほしいと考えます。

(6) エルベ

今年度から新たな体制となり、積極的な経営に取り組みられているので、今後に期待します。

(7) バーク堆肥

休業状態の会社で負債が残っているが、町としては、債権の放棄等を早急に進め、これ以上の財政負担の無いようにすべきと思います。

全体に言えることは、今後は、一日も早く民間と比べ、経営に取り組む姿勢・緊張感があまりにも違うことを感じました。町が豊かになり、にぎわいを取戻すには、全ての産業に活力が必要で、第三セクターに対する支援が必須だと思えます。

委員 長 中村 仁一
副委員 長 長沼 桂子
委員 手塚 敏行
岡田美樹雄
後藤恵一郎
八島 伝内



三セク経営先進地視察(宮城県大衡村)

研修報告

農集排の臭気対策に

議会運営委員会研修

5町

議員研修

臭気対策と

汚泥減量化へ

10月27日から28日にわたり、本町における農業集落排水処理施設の臭気対策及び汚泥減量化の取り組みについて舟形町・庄内町に於いて研修しました。

舟形町では現在供用している日本農業集落排水協会ジャルスⅢ型施設について改良を行ったものです。この施



臭気対策（舟形町）



汚泥の堆肥化（庄内町）

設は、本町では椿・萩生・中・松原地区で運用・運転・維持管理が転している処理方式と同様で硫化水素の発生が多く、処理水が十分でなく、その濃度の低下と嫌気性ろ槽のコンクリートの劣化防止を目的として実施されているものでした。

11月24日高島町役場において、議会運営全般及び議会報告会の取り組み状況について伺ってきました。町に対しての政策提言を2年に

高島町議会研修

1回行っており、過去に行っていた、日曜議会は廃止、夜間議会もケーブルテレビの利用により廃止したとのことでした。議会報告については、昨年度から実施しており、各地区長会と連携し、3班集体で6ヶ所で実施し、

12月22日に置賜の5町議会議員研修会が小国町で開催され、東北芸術工科大学の田口洋美教授から、「熊の異常出没が意味するもの」。森づくりアドバ

予算・決算の審議状況、常任委員会の活動状況、その他関係事項を報告、参加者から意見・要望・提言を出してもらっているとのことでした。特定の議員に偏らないようお互い良識をもって対応し、多くの参加者が発言できるように配慮していました。当然の大切さを感じました。

背景等、白壁先生には、やまがた緑環境税を活用する事業等について説明があり、改めて自然の大切さを感じました。

「ゆるっと」への交通が便利に

一部事務組合議会報告

置賜広域病院組合

去る10月16日に開催された定例会は、主に平成21年度決算の審査を行いました。

その内容は、外来患者数で前年度と比較すると6000人の増、1日平均36・8人の増加、入院患者数で4963人の減、1日平均で13・8人の減少となりました。その結果、医療収益

は134億7千万円、医療支出は139億5千万円で、当年度純損失は4億8千万円でした。

医療収支の状況は、外来の診察収入が増加した分で入院収益の減少を補い、昨年度と比較すると収益全体では2・6%の増収となりました。

この結果、医療収支比率は87・5%となり、前年度より0・4%の改善が図られました。

置賜広域行政事務組合

11月26日、定例会が開催され、21年度決算2件、22年度補正予算、その他の案件合わせ5

件を原案のとおり可決しました。

一般会計決算は、歳入で42億9192万円、歳出で41億7244万円、差引き1億194

8万円、うち通次繰越、繰越明許費合わせ510万円を差し引いた1億1438万円が実質

収支額となりました。なお、本町の分担金は8080万円でした。

また、千代田クリーンセンター談合問題に

ついては、株式会社タクマ側が置広に6億5

千万円支払うことで和

解しました。千代田クリーン

ターへの取付道路は12

月に完成し、ごみの搬

入や健康増進施設「ゆる

っと」への来所者には交通安全の面からも

便利になると期待がも

てます。

指定ごみ袋が破れやすい等の苦情が多数あったために、素材を変更し、新たなごみ袋を作成することになりました。

西置賜行政組合

去る8月発生した消

防職員の不祥事は、嫌疑不十分で不起訴となりましたが、組合は、

2人に停職3ヶ月、1人に停職2ヶ月の処分を11月17日決定しました。

あ тогоき

暑い暑いと過ごした4ヶ月、熊に怯え振り回された3ヶ月、あげくにドカ雪で暮れた22年。なんとプレッシャーの大きな年だったことか。

連日の新聞・テレビで報じられる殺人事件や児童虐待のニュース、命の大切さが叫ばれて久しいが、教えられてもわからない人、自分の都合だけで世の中をかき回す人間の多いことをなげかずにはいられない。

弱い子供、不治の病に苦しむ子供の親たちは、頑張ってほしい、生きてほしいと願い、必死に取りくんている姿を見ているだろうに、みんなで考える年になりたい。(船山記)



取り付け道路完成